

③ 「新たに加わった仲間とともに」 代表取締役 長尾 康行 (中小企業診断士)

本日4月1日に新卒生2名、中途採用2名を迎え入れ、当社は役員1名、正社員9名、インターン生1名の計11名になりました。昨年1月に現在の事務所に移転してきたのですが、当初想定していたペースよりも早く人数が増えたため、再度移転を検討しなければならなくなりました。本当に有難いことです。

今日は午後から入社式を行います。新卒社員にとっては一生に1回のことですので、私なりに新卒生の心に残るような式にしたいと思います。また、折角ですので本日入社する中途の社員や既存社員に対しても、改めて私が目指す会社像や創業の精神を伝える時間を設けようと思います。

売上や利益の確保、顧客の開拓、商品・サービスの開発は個人的には得意な分野ですが、社風の醸成や人材育成については正直まだ確固たる信念や“型”みたいなものがまだ自分の中に確立されていないため、手探りで進めるというのが本音です。ですが、私が普段大事にしている考え方や価値観などはその時々で文章化したり話したりし続けなければなりません。相手を信じて、語り続けることをやめないようにしていきます。ただ、何でも私一人で決めるべきとは思いません。社員の自主性や気持ちを尊重しながら新卒社員も含めた全員で良い会社を作るために、何が必要かを考えながら進めていければと思います。

④ 「席替えの効果」 マネージャー 木戸 貴也 (中小企業診断士)

物理的な距離や接触回数の多さが、心理的な距離にも影響すると言われており、コミュニケーションを円滑にするためには、席替えを定期的に行うことも必要だと考えています。一般的な社内の座席は上位職や社歴の長い人が上座から座っていることが多く、一度自分の席が決まると何年も同じ席の職場が多いのではないのでしょうか。

席替えにはコミュニケーションの円滑化以外にも席替えのために自分の机を片付ける必要があることや少し新鮮な気持ちで仕事ができるなどのメリットもあります。長年、同じ座席が続いているのであれば、一度席替えも検討してみてください。

⑤ 「できていない当たり前のこと」 ビジネスアナリスト 椋本 啓嗣

社会人になって前職の上司から一番初めに指導を受けたのが、「汚い靴を履くな」ということです。それから、ほぼ毎日仕事に行く前に簡単に靴を磨いています。最初は、靴を磨くことが面倒でやるのが億劫でしたが、今では靴を磨かないと家を出ることが気持ち悪いと感じるようになり、靴を磨くことが当たり前になっています。日々の仕事においても、やりたくてもできていないことや継続してできていないことを見直し、毎日少しずつ実践することで、仕事における当たり前の水準を高めていければと思います。

⑥ 「自分が積み上げられるもの」 ビジネスアナリスト 杉原 千尋

「巨人の肩の上に乗る」。——私たちは過去を生きた人々よりも、より多くより遠くまで見ることができるが、それは私たちそのものが優れているからではなく、巨人の身体の上（先人が積み上げてきたもの）に立ち高く持ち上げられているからだ、という意味合いの言葉です。日々の業務で使用するツールやノウハウなど、上司や先輩方が積み重ねてこられた経験の中で生み出されたものから受けている恩恵は数え切れず、この言葉の真を実感することが多々あります。私も組織に所属する人にとって有益となるものを積み上げられるよう、より一層精進していきたいと思います。

⑦ 「周りがしていないから自分もしなくていい？」 経理・総務 松野 あやか

いいえ、周りがしていないからこそ自分から進んです！最近この考えを意識しています。例えば、周りが朝の挨拶が元気なく、自分も周りに流されて、元気のない挨拶をする、掃除は〇〇さんがしていないから自分もしなくていいだろうという事象が挙げられると思います。周りに流され、周りの態度を気にしてしまうかもしれませんが、そういう時こそ、自分から進んです、もっと元気よく挨拶して明るくする、周りを巻き込んで取り組むなどの強い心を持ってください。どうして自分だけ、、とってしまう時もあるかもしれませんが、それでも続けてください。きっとあなたの行動は誰かが必ず見てくれています。そしてその強い心は、その場面だけでなく、様々な出来事で役に立つと実感しております。

裏面へ



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ
 凸いいね! お待ちしております。



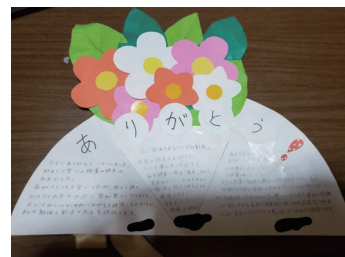
株式会社フラッグシップ経営 Twitter
 @flagship_keiei にて随時情報発信中!





③ 「塾講師を卒業しました」 ビジネスアナリスト 橋本 大治

大学の卒業式も終わり、4年間続けてきた塾講師のバイトにも終わりの時が来ました。はじめは教え方もわからず、ただただ授業をこなしていましたが4年目になると生徒の性格や志望校に合わせて授業が進められるようになりました。他の講師の方は私より頭が良い方が多かったですが私はその分、生徒の「わからない」をわかってあげられるような講師を目指して頑張りました。その意識が結果に繋がったのかはわかりませんが私が担当した体験授業の入塾率はほぼ100%でした。また、宿題の多い先生として嫌がる生徒もいましたが一部の生徒からは授業がわかりやすいと指名を受け、最後の授業の日には、よく担当していた生徒からお手紙もいただきました。講師としてはまだまだ未熟で「もっとこうしてあげればよかったな」などと考えだすときりがありませんが、この4年間は非常に貴重な時間でした。私がコンサルタントを目指したきっかけも生徒を教える中で生徒以外にも頑張り方がわからない人や頑張っているが結果が伴わない人たちが社会に多くいるはずだと考えたためです。フラッグシップ経営に入り、既に3年目となるため本当に時間の流れは速いなと感じますが塾講師で大切にしてきた「わからない」をわかってあげられるというスタンスを大切にしながらたくさんの方に感謝されるようなコンサルタントになれるよう頑張りたいと思います。



③ 「学生から社会人になり」 ビジネスアナリスト 秋定 皇輝

今月から4月となり、年度が変わったと共に学生から社会人になりましたが、最近、学生と社会人との違いを考える中で、責任の重さについて考えることが多々ありました。学生のうちは、何か失敗をしても自分に迷惑が掛かるだけであったり、謝罪すれば済んだりすることも多く、何かにつけて守られていたのだと感じました。ですが、社会人になるとすべてが自分の責任となり、企業や他の社員にも影響が及びます。社会人は何か失敗してしまった場合、自分でどう対処すれば良いか考えて行動に移さなければならず、そして、同じ失敗を繰り返さないようにする必要があります。インターンとして受け入れていただき約1年、入社時から責任を持って働いてきましたが、再度責任の重さを肝に銘じて働いていこうと思いました。

③ 「自己紹介」 ビジネスアナリスト 伊藤 侑加

3月より入社いたしました、伊藤侑加と申します。これまで中小企業の株式価値算定や、会計ソフトウェアの顧客サポート等の業務に従事しておりました。1日でも早く事業者の皆様のお役に立てるよう精進してまいります。

生年月日：1986年3月15日生、大阪府出身 趣味：旅行、日本酒

日本酒は飲むことはもちろん、最近は酒蔵へ赴き、酒造の工程や、地域貢献への取り組みなどを学ぶことが好きです。



③ 「自分と向き合う」 インターン生 垣口 紗花

私はこの4月で大学3年生になります。今までは大学の勉強をして、フラッグシップ経営で働き、学び、時には友達と遊んで、と過ごしていました。今もとても充実しており、学ぶこともたくさんあります。先日、長尾さんと2人で話す機会があり、長尾さんは自分が成長できるようなことにもお金を使ったらいいよとおっしゃいました。私はそれを聞き、遊びだけにお金を使うのではなく、資格や図書などにもお金を使おうと考え、FP3級の教科書を買いました。今3級を合格するために勉強中です。他にも自分と向き合う内容の本を購入し、読んで自分について理解しようと考えています。時間があるこの大学生活で自分と向き合い、勉強し成長できるように頑張ります。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-12-8 関西心斎橋ビル8階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp

